

モロッコ政務月報(1月)

2014年2月
在モロッコ大使館

1月のモロッコの動きを、当地報道を中心にとりまとめたところ、以下のとおりです。要人往来については末尾に一覧表を付しました。

なお、当政務月報は当月中にメディアで多く取り上げられた話題をランダムに選出しており、これらニュースについての当館及び日本政府の立場を何ら反映するものではありません。

<内政・政局>

1 野党連合結成の動き

- (1) 真正と現代党(PAM)、人民勢力社会主義同盟(USFP)、イスティクラル党(PI)及び立憲同盟(UC)の野党4党が連携を確認。
- (2) PIとUSFPは、それぞれ単独では公正と発展党(PJD)に対抗できないと考え、今回の連合結成に至った模様。今後これら4党は連携して2016年総選挙での政権奪取を目指すと予想される。

2 薬剤師団体による抗議

- (1) 8日、衆議院において、エル・ホセイン・ルアルディ保健大臣が薬剤師の団体に侮蔑の言葉を交えて抗議を受ける場面があった。
- (2) 保健大臣の進言に基づき北部及び南部の地域薬剤師評議会の解散が閣議によって決定されたことを受けてのもの。
- (3) 同大臣は、12月にも、薬の値下げ政策に反対するロビイストからの脅迫を受けていた。

<外交・国際関係>

3 シリア人のアルジェリアからの流入

- (1) 1月末から、アルジェリア国境を越えてシリア人がモロッコに流入。
- (2) モロッコ側は、これらシリア人はアルジェリア政府によりアルジェリアを追放された結果モロッコに入学し、モロッコ政府は彼らに必要な手当と保護を与えた、としている。他方、アルジェリア側は、これらシリア人はモロッコ政府によりモロッコから追放されたのであり、アルジェリア-モロッコ国境においてモロッコ側に追い返した、と主張。
- (3) モロッコ政府発表のコミュニケによれば、26-28日の間に70名以上のシリア人がモロッコに流入した模様。

4 第3回 EU・モロッコ自由貿易進展・完全化協定交渉

- (1) 第3回 EU・モロッコ自由貿易進展・完全化協定交渉が20-24日行われた。
- (2) 同協定は、モロッコ経済の EU 市場への統合の推進を目的とするものであり、貿易の円滑化、SPS(衛生植物検疫)規則、投資の保護、政府調達及び競争政策等について定める予定。

5 ベンキラン首相のダボス会議出席

- (1) 22日～25日にスイスのダボスで行われた世界経済フォーラム年次総会(ダボス会議)にベンキラン首相が出席。
- (2) 演説の中でベンキラン首相はモロッコの安定性を強調し、「モロッコはアラブ地域における危機の波から免れており、これは君主制が統合と安定及び安心感を支えているからである。」「政府が保健、教育、住居、交通といった重要な問題に取り組むことができるのも、国王による国民の福祉に対する心配りがあってのことである」と述べた。

6 モハメッド6世国王による今夏の再度の訪米の可能性

- (1) 昨年11月に訪米したモハメッド6世国王が、8月5-6日にワシントンで行われる米-アフリカサミットに出席するため、再度訪米する可能性が高まっている。
- (2) 同会合はこれまでアフリカ市場において仏、中、日本等に遅れをとってきたとされる米国が、アフリカ諸国との関係強化を目指して行われるもの。

7 ブーアイダ特命大臣のエチオピア出張

- (1) ブーアイダ外務・協力大臣付特命大臣は、24-31日の日程で開催された第22回 AU 総会の機会を捉え、エチオピアのアディス・アベバに出張した。
- (2) 同特命大臣は AU 総会のマージンでトーゴやタンザニア、ガーナ、ケニア及びルワンダらの外相と会談を行った。
- (3) インタビューの中で同特命大臣は「モロッコの AU への復帰は現在のところは検討されていない」とし、マージンでの諸会談は、純粹に友好国との二国間会談であると強調した。
- (4) 将来の AU 復帰への条件について問われると、同特命大臣は「AU のアラブ・サハラ民主共和国(RASD)への承認の撤回なしにしてはモロッコの復帰はありえない」と述べた。

8 クルシード印外相のモロッコ訪問

- (1) 1月29日～、クルシード印外相がモロッコを訪問した。

(2)モハメッド6世国王, メズアール外相らと会談し, モロッコ・印間の経済協力関係等につき意見交換を行った模様(なお, 印はモロッコにとって肥料の原料であるリン鉱石の大口輸出口)。

<各種国際会議の開催等>

9 第20回 AI Qods 委員会の開催

- (1)17日, 第20回 AI Qods 委員会がマラケシュで開催された。
- (2)同委員会は, 「パレスチナの大義」に関する団結を確認することを目的に開催。
- (3)アッバス・パレスチナ大統領をはじめとし, 各国から首脳, 閣僚等が出席した(国連安保理常任理事国もオブザーバー参加)。また, モハメッド6世国王が議長を務め, 開会の挨拶を行った。

<その他>

10 ラバト地方長官死去

- (1)ラバト・サレ・ゼムール・ザエール地方長官兼ラバト県知事のハッサン・アムラニ氏が4日, 長年の闘病生活の末死去した。享年56歳。
- (2)新しい地方長官兼ラバト県知事にはアブデルアフィ・ラフティ氏が任命された。

<モロッコ要人の外国訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
1月17日	ドイツ	アハヌッシュ農林水産大臣	ミュラー経済協力及び発展大臣と会談
1月29日	エチオピア	ブーアイダ外務・協力大臣付特命大臣	AU 総会マージンでの各国外相との会談

<外国要人のモロッコ訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
1月3日	アメリカ	上院議員団	モハメッド6世国王等と会談
1月14日	ギニアビサウ	アラウジョ・ゴメス・インフラ大臣	ラバハ設備・交通・ロジスティクス大臣と会談
1月19日	エジプト	ファフミ外務大臣	メズアール外務・協力大臣とともに第三回モロッコ・エジプト

			政務戦略協調協力 対話会合を共同議長
1月20-21日	ポルトガル	マシエッテ外務大臣	モハメッド6世国王, らと会談
1月24日	セネガル	サル大統領	私的訪問
1月29日-	インド	クルシード外務大臣	モハメッド6世国王, ベンキラン首相, メズ アール外務・協力大 臣らと会談

(了)